

2学年だより

鯖江市中央中学校
第2学年
令和8年1月30日(金)

～「自覚」と「覚悟」～

4月からは中央中学校の最上級生、そして、受験生と呼ばれるようになります。この時期、生徒たちに伝える言葉の1つに「自覚」という言葉があります。「自覚」とは、「自分の能力や立場を理解する」という意味があります。「受験生としての自覚をもちなさい」とは「受験生という自分の立場を分かりなさい」という意味になると思います。これからは受験生としての1年になるということは、これまでも何度も伝えてきたので、生徒たちも十分に自覚していると思います。しかし、保護者の方から見たときに、「うちの子は受験生になるという自覚がない」と心配している方も多いのではないのでしょうか。どうして、このようなギャップを感じるのでしょうか。それはおそらく、「勉強する」という行動に移せていない姿を見ているからではないのでしょうか。今年は受験生だとは分かっている、でも、勉強はしていない、というのが現実なので、親から見ると「あなた、分かって(自覚して)いるの?」となり、子どもからすると「分かってるって(自覚してるって)」となります。思春期と言われる時期だから、分かっていること、自分でも不安に思っていることを親から突っ込まれると、反抗的な態度で自分にバリアを張ってしまう。そんなことも多いのではないのでしょうか。

「自覚」とよく似た言葉に「覚悟」という言葉があります。「自覚」と「覚悟」は何が違うのでしょうか。「自覚」には「自分の能力や立場を理解する」という意味があるのに対して、「覚悟」には「自分にとって苦手なこと、不利なこと、困難なことなどがあると分かった上で、やると決めること」という意味があります。現在の2年生の授業や生活の様子を見ていると、もうすぐ受験生になること、だから勉強しないといけないこと、は分かっているように感じますから、自覚している生徒は増えていると思います。しかし、1年後の受験に向けて、「絶対に努力を継続する」という「覚悟」ができていない生徒も多いと思います。つまり、受験生になる「自覚」はあるけれども、受験生になる「覚悟」が決まっていないのだと思います。

しかし、覚悟を決めるには時間と勇気が必要です。ですから、この3学期は、生徒が受験生になることを自覚するだけでなく、受験生として、困難に負けずに、自分に負けずに、努力をするんだという覚悟を決める期間にしたいと思っています。まずは、3月17日(火)に実施する「立志の集い」の取り組みを通して、これまでの自分を見つめ直して、1年後の「なりたい自分」に近づくための「志」を立て、仲間の前で自分の「志」を表明することで、「自覚」から「覚悟」へと自分の意識を高めるきっかけにしましょう。そして、大丈夫(ますらを)の心で、努力を積み重ねる日々にしていきましょう。

また、立志の集い終了後、学年主任より、来年度の学校祭や修学旅行などの学校行事や受験について、説明をさせていただく時間を設けたいと考えています。保護者の皆様におかれましては、平日の開催ということで、お忙しいとは思いますが、ぜひご来校いただき、お子様の成長した姿や成長しようとする姿を見ていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

学年主任より



3月17日(火)実施 「立志の集い」に向けて

1月22日(木)6校時に「立志の集い」全体像発表会を行いました！

※生徒が企画、準備、運営を行う主体的な活動を目指していますので、
「立志式」から「立志の集い」に変更して実施したいと思います。



運営実行委員の発表



成長の記録実行委員の発表



学年合唱実行委員の発表



学年五訓実行委員の発表



各実行委員会の委員長と副委員長から、当日の流れや、各実行委員の発表の内容についての説明をしました。

また、個人訓発表の実演を行って、本番のイメージを膨らませました。

準備が着々と進み、立志の集いに出席する生徒の姿が、ますます楽しみです。